

# 1 旧石器・縄文時代

大館に人が住み始めたのは、約 20,000 年前の<sup>こうききゅうせつきじだい</sup>後期旧石器時代です。



<sup>きゅうせつきじだい</sup>旧石器時代の「<sup>せきじんぎほう</sup>石刃技法」で作られたナイフ形の<sup>せつき</sup>石器です。大きい物で長さ22.5cmもあります。どんなことに使ったのでしょうか。

<sup>じょうもんじだい</sup>縄文時代（約 15,000 年前～約 2,300 年前）の暮らしについて調べましょう。



このような道具を使って、どんな暮らしをしていたのか考えましょう。

<sup>じょうもんどき</sup>縄文土器のもようはどうやってつけたのでしょうか。

<sup>がんくう</sup>岩偶や<sup>どくう</sup>土偶、<sup>ほうけいせつき</sup>鋒形石器などは、何のために使われたのでしょうか。

<sup>つかのしたいせき</sup>塚ノ下遺跡で出土した<sup>どくう</sup>土偶の絵をかこう。



どんな<sup>とくちょう</sup>特徴がありますか？

